業界初 マットでエコマーク

豊橋の日之出 接着剤使用を激減

日本環境協会のエコマークを取得した玄関用マット＝豊橋市綿町で

豊橋市のモップ、マット製造業「日之出」（松本百合子社長）が開発した玄関用マット「ECOヒューレ」が、日本環境協会の「エコマーク」に認定された。同社によると、マットのエコマーク取得は業界初という。

使用済みペットボトルの再生糸で作った繊維部分とゴムを張り合わせてマットにする際、従来の接着剤の代わりに特殊な繊維を使用。接着剤を一平方㍍あたり一㌔から約四十㌘に激減させた。この工夫で「再生品の重さが全体の35％以上」というエコマークの認定基準を満たした。

従来の製品と同様、吸水性と泥をはじく機能を兼ね備え、五十回洗濯しても性能が落ちないという。

同社は昨年にも、使用済みの綿の手袋を再生したモップでエコマークを取得している。

現在、使い終わったマットのリサイクルも検討している。松本社長は「さらに環境への負荷が軽く、性能も優れた製品を開発したい」と話している。問い合わせは、日之出＝電0532（31）2237＝へ。

（重村 敦）

遠州だより